

芸術で平和訴え ロレマさん講演

松江

1905年に女性初のノーベル平和賞を受賞した平和活動家ベルタ・フォン・ズットナー（1843～1914年）の像を制作したオランダ人彫刻家イングリッド・ロレマさんの講演が23日、松江市のくにびきメッセであった。

ズットナー像は、国際司法裁判所などが入るオランダ・ハーグの「平和宮」完成100年を記念して彫られた。小松電機産業（本社・松江市）の依頼で同像の2、3作目を制作、うち1体はオーストリア・ウィーンなどで展示されている。ロレマさんはこの日、同社主催のイベント「八雲立つ出雲から陽が昇る」の中で講演。ノーベル平和賞創設に貢献したズットナーの生涯と自らの思いを重ね、「芸術の役割は、社会を維持可能にすること。ズットナーが平和のために闘ったように、芸術も良心を揺さぶり、破壊行為を選択肢に示してはならないことを示すことができる」と話し、平和の大切さを訴えた。

（寺田航）



講演するロレマさん（松江市で）